

インテリジェントインフォメーションパネル + ドライバーセンシングユニット

概要

インテリジェントインフォメーションパネルでは、自動運転時代を見据え、大量・複雑な情報を車両の状況に応じ、最適な位置やサイズ、アニメーションを用い分かりやすく運転者に提示を行います。更にドライバーセンシングユニットと連携し、運転者の状態を検知することで、運転者に対し負担が少なくより分かりやすい方法での情報提示が可能となります。

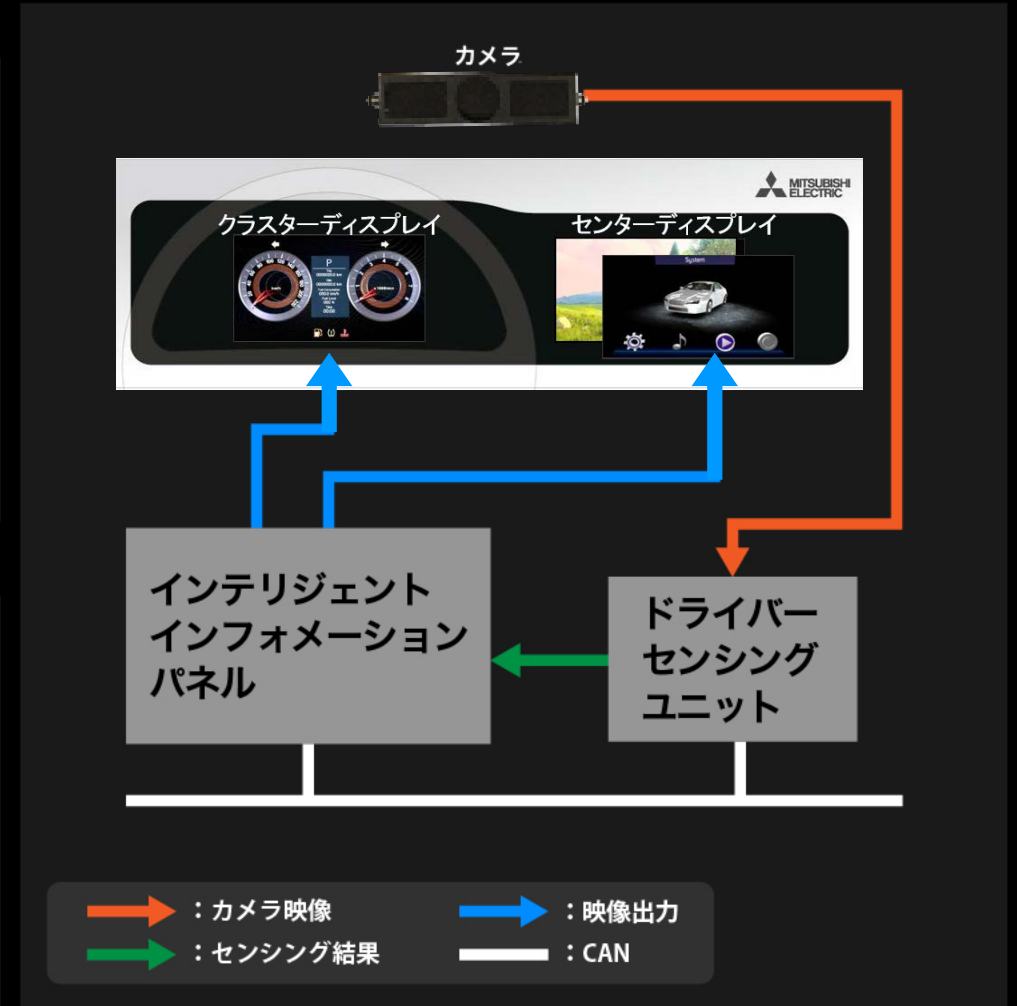
また3Dグラフィックスと運転者認識により、運転者の好みに合わせたリッチなHMIテイストの変更も可能となります。

特長

1. 自動運転時代のADAS、メーターとエンターテインメントのコンテンツをシームレスに表示する運転支援システムを提供可能
2. 描画機能の統合によりトータルコストの低減、小型・軽量化が可能
3. エンターテインメント機能が安全機能を阻害しない堅牢なアーキテクチャ
4. フル3Dグラフィックス
5. 運転者に合わせたHMIテイストの変更

ADAS : 先進運転支援システム

HMI : ヒューマンマシンインターフェース



インテリジェントインフォメーションパネル + ドライバーセンシングユニット

インテリジェントインフォメーションパネル

【メリット】

- 低コスト
 - ・ 描画デバイス (GPU) を1つのユニットに統合することでコスト低減
- 高付加価値
 - ・ 状況に応じて最適なレイアウトで表示を行うHMI
 - ・ 柔軟性の高いHMIによるデザインの幅の拡大
 - ・ 安全安心機能の充実化

【次世代】 以下の機能を両立する、Hypervisorを搭載した製品を開発中

- 堅牢なRTOS上で動作する安全 / 安心系機能
- Linux等のRich OS上で動作する高級エンターテイメント系機能

【メリット】

- ・ 実績のあるRich OS向けアプリケーションが容易に統合可能
- ・ 機能安全対応が求められる機能はRTOS上で開発し、Rich OSではOSS/既存のミドルウェアを使用することで、効率的に開発可能

